



平成30年5月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年4月5日

上場会社名 三光合成株式会社

上場取引所 東

コード番号 7888 URL <http://www.sankogosei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒田 健宗

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 芹川 明

TEL 0763-52-7105

四半期報告書提出予定日 平成30年4月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	43,757	7.0	1,990	25.8	1,834	11.8	1,309	23.4
29年5月期第3四半期	40,878	2.3	1,582	7.6	1,640	137.1	1,061	108.0

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 1,436百万円 (81.8%) 29年5月期第3四半期 790百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	51.39	
29年5月期第3四半期	41.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年5月期第3四半期	45,489	16,209	34.5	616.34
29年5月期	44,004	15,052	33.1	571.83

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 15,706百万円 29年5月期 14,572百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期		5.00		5.00	10.00
30年5月期		6.00			
30年5月期(予想)				6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	3.3	2,500	6.0	2,300	2.1	1,500	26.5	58.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年5月期3Q	25,688,569 株	29年5月期	25,688,569 株
期末自己株式数	30年5月期3Q	204,497 株	29年5月期	204,362 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年5月期3Q	25,484,150 株	29年5月期3Q	25,485,189 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策などにより、企業収益や雇用・所得に改善が見られ緩やかな回復基調で推移しました。一方、欧米、中国の景気は引き続き堅調に推移しましたが、米国新政権の動向や中東情勢などの不安定要素もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

この様な状況のもと、当社グループでは前連結会計年度に引き続き、販売力の強化、生産効率の向上を図り労務費や経費の圧縮に努め、原価低減活動を積極的に進めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は43,757百万円（前年同期比7.0%増）となり、利益面におきましては、営業利益は1,990百万円（前年同期比25.8%増）、経常利益は1,834百万円（前年同期比11.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,309百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

車両向け金型は増収となりましたが、成形品部門における情報・通信機器部品の減収により、売上高は18,092百万円（前年同期比1.1%減）となり、セグメント利益は1,087百万円（前年同期比32.6%減）となりました。

② 欧州

車両用内外装部品の受注が堅調に推移し、売上高は6,468百万円（前年同期比6.8%増）となり、セグメント利益は646百万円（前年同期比32.0%増）となりました。

③ アジア

タイにおける車両用内外装部品の受注増等もあり、売上高は13,866百万円（前年同期比11.2%増）となり、セグメント利益は556百万円（前年同期はセグメント損失186百万円）となりました。

④ 北米

車両向け金型の増収が大きく寄与し、売上高は5,329百万円（前年同期比30.9%増）となり、セグメント利益は176百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

なお、部門別の売上の状況は、次のとおりであります。

部門別		当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)	
		売上高(百万円)	前年同四半期比(%)
成形品	情報・通信機器	4,696	△21.0
	車両	28,197	6.5
	家電その他	2,467	69.7
成形品計		35,361	4.4
金型		8,395	19.8
合計		43,757	7.0

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、45,489百万円（前連結会計年度末比1,484百万円増）となりました。これは、機械装置及び運搬具が1,145百万円、土地が384百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、29,279百万円（前連結会計年度末比327百万円増）となりました。これは、長期借入金が1,446百万円減少したものの、短期借入金が2,137百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、16,209百万円（前連結会計年度末比1,157百万円増）となりました。これは、利益剰余金の増加1,029百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成30年4月5日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,443	6,229
受取手形及び売掛金	12,124	12,313
商品及び製品	1,227	974
仕掛品	1,997	2,312
原材料及び貯蔵品	652	757
その他	1,645	1,780
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	24,089	24,367
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,076	6,170
機械装置及び運搬具(純額)	6,732	7,878
工具、器具及び備品(純額)	874	914
土地	4,105	4,490
建設仮勘定	674	352
有形固定資産合計	18,464	19,806
無形固定資産		
のれん	240	210
その他	468	423
無形固定資産合計	708	634
投資その他の資産		
投資有価証券	390	372
その他	640	573
貸倒引当金	△32	△29
投資損失引当金	△255	△234
投資その他の資産合計	742	681
固定資産合計	19,915	21,122
資産合計	44,004	45,489

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,636	10,378
短期借入金	1,812	3,949
1年内返済予定の長期借入金	2,828	2,616
1年内償還予定の社債	470	390
未払法人税等	330	281
賞与引当金	193	133
役員賞与引当金	33	—
その他	3,852	3,365
流動負債合計	19,156	21,114
固定負債		
社債	605	450
長期借入金	6,090	4,856
役員退職慰労引当金	23	23
退職給付に係る負債	1,014	959
その他	2,061	1,875
固定負債合計	9,795	8,165
負債合計	28,952	29,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,964	2,964
利益剰余金	10,303	11,332
自己株式	△43	△43
株主資本合計	16,109	17,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△2
為替換算調整勘定	△1,067	△1,052
退職給付に係る調整累計額	△465	△377
その他の包括利益累計額合計	△1,537	△1,432
非支配株主持分	479	503
純資産合計	15,052	16,209
負債純資産合計	44,004	45,489

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	40,878	43,757
売上原価	34,644	36,877
売上総利益	6,234	6,879
販売費及び一般管理費	4,651	4,888
営業利益	1,582	1,990
営業外収益		
受取利息及び配当金	20	25
受取賃貸料	47	45
為替差益	95	31
その他	244	106
営業外収益合計	408	208
営業外費用		
支払利息	244	195
持分法による投資損失	17	29
その他	89	139
営業外費用合計	350	364
経常利益	1,640	1,834
特別利益		
固定資産売却益	9	5
国庫補助金	—	25
投資損失引当金戻入額	—	20
特別利益合計	9	50
特別損失		
固定資産除却損	32	28
固定資産売却損	2	7
スワップ差損	158	27
固定資産圧縮損	—	25
その他	0	—
特別損失合計	193	89
税金等調整前四半期純利益	1,456	1,796
法人税等	501	469
四半期純利益	955	1,326
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△105	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,061	1,309

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成30年2月28日)
四半期純利益	955	1,326
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
為替換算調整勘定	△154	10
退職給付に係る調整額	47	88
持分法適用会社に対する持分相当額	△59	9
その他の包括利益合計	△165	109
四半期包括利益	790	1,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	882	1,414
非支配株主に係る四半期包括利益	△91	21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結会計期間より、新たに設立した「武漢三樺塑膠有限公司」を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,284	6,055	12,467	4,071	40,878	—	40,878
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,058	4	671	167	2,901	△2,901	—
計	20,342	6,059	13,138	4,239	43,780	△2,901	40,878
セグメント利益又は損失(△)	1,613	489	△186	172	2,089	△506	1,582

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△32百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△473百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	欧州	アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,092	6,468	13,866	5,329	43,757	—	43,757
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,767	36	567	4	2,375	△2,375	—
計	19,859	6,505	14,433	5,334	46,132	△2,375	43,757
セグメント利益	1,087	646	556	176	2,467	△476	1,990

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去36百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△512百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。